

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	さくら小学校新築工事	階数	地上3F
建設地	守口市東光町二丁目	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2018年3月1日
敷地面積	16,258 m ²	作成者	昭和設計里吉健
建築面積	5,563 m ²	確認日	2018年3月2日
延床面積	10,263 m ²	確認者	同上山本和宏

本評価は「CASBEE」に基づき、「評価結果」を
取得し、この結果を「評価結果」を
お知らせいたします。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 96%
③上記+②以外の 93%
④上記+ 93%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.1
温熱環境	2.6
光・視環境	3.9
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

機能性	4.3
耐用性	3.1
対応性	3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.4

生物環境	4.0
まちなみ	5.0
地域性・	4.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.2
地域環境	3.1
周辺環境	3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
	Q3 室外環境(敷地内)
	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-変-0013

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	さくら小学校新築工事							
	建設地	守口市東光町二丁目							
	用途/区分	学校(小中高)							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			A					
①	CO2削減			3					
②	みどり・ヒート アイランド対策			4					
③	建物の断熱性			5					
④	エネルギー削減			3					
⑤	自然エネルギー直接利用			○					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	4.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.8	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		